

観光振興対策特別委員会記録

開催日時 平成30年3月5日(月) 16:23~16:33

開催場所 第2委員会室

出席委員 7名

亀田 忠彦 副委員長

池田 慎久 委員

松本 宗弘 委員

中川 崇 委員

田尻 匠 委員

乾 浩之 委員

今井 光子 委員

欠席委員 1名

和田 恵治 委員長

出席理事者 森田 観光局長

金剛 まちづくり推進局長 ほか、関係職員

傍聴者 なし

議 事

(1) 2月定例県議会追加提出予定議案について

<会議の経過>

○亀田副委員長 和田委員長が欠席していますので、副委員長の私、亀田がかわって委員長の職務を行いますので、よろしくをお願いします。

それでは、ただいまより観光振興対策特別委員会を開会いたします。

本日傍聴の申し出があれば、20名を限度に入室していただきますので、ご承知ください。

それでは、案件に入ります。

2月定例県議会追加提出予定議案のうち、当委員会に関する議案は、お手元に配付しております2月定例県議会追加提出予定議案の概要に記載の議案のうち、丸印をつけた議案となります。

なお、個々の議案の説明については、議案説明会が行われたため、省略いたします。

それでは、質問があればご発言願います。

なお、質問は、追加提出予定議案の案件に限らせていただきますので、ご了承願います。

○中川委員 きょう配付された2月定例県議会追加提出予定議案の概要の3ページ目ですが、奈良公園観光地域活性化基金積立金と、その下の基金の事業についてですが、興福寺中金堂再建事業への寄附であるといった説明を受けているのですけれども、これは基金に必要な額を入れて、直ちに興福寺に支出をするといった理解でよろしいでしょうか。

○上平奈良公園室長 中川委員のおっしゃるとおりです。

○中川委員 そうしますと、基金を通さない場合と通した場合で何が違うのか説明をお願いします。

○上平奈良公園室長 この基金については、ふるさと納税などと同じ形で、寄附者が2,000円を超えた分については、減税として、また寄附者に戻ってくることになっています。そのため、寄付する方にとってはそれだけ有利な形になります。

○中川委員 そうしますと、基金に入れるお金というのは、県のお金ではなくて、寄附された方が別にいらっしゃるということでしょうか。

○上平奈良公園室長 そのとおりです。県としては、手数料として5%はいただきますけれども、それ以外については全て相手方の事業へお渡しします。

○中川委員 よくわかりました。

次に、2月定例県議会追加提出予定議案の概要の6ページ目です。先日の説明会の中では、具体的に説明がなかったのを改めて説明していただきたいのですけれども、奈良公園施設魅力向上事業、こちらは13億円計上していますけれども、こういった施設を考えているのかを聞きたいのです。例えば、猿沢インは所管は違うかもしれませんが、中の配管が一部まだぼろぼろのままであったりなど、そういった話も聞いていますので、具体的にこういった施設に対しての予算、繰越明許費であったのか説明をお願いします。

○上平奈良公園室長 この金額の主たるものは、(仮称)登大路バスターミナル工事のお金です。

原因としては、一つは、地下に排水管があったのですけれども、その位置が少しずれていまして、基礎に当たるといことで、少し設計を見直すということと、去年、不落等もあり、その影響が今も少し及んでいるためです。以上です。

○中川委員 また、細かいところは個別に聞いていこうと思います。

平城宮跡周辺地域における街路渋滞対策検討事業について、最後の質問としたいと思います。この事業は、こういった内容なのか、先日の説明会で説明がありませんでしたので、

改めて説明いただきたいと思います。

備えつけの駐車場がかなり減ってしまったということで、あふれ出てしまうといった問題も時期によっては起こっていましたので、そういったことも勘案されているのかどうかなど、その辺を踏まえて説明をお願いします。

○志茂平城宮跡事業推進室長 平城宮跡歴史公園周辺の交通渋滞対策についてお答えします。

3月24日の朱雀門ひろばのオープンには、相当の観光客の来場が見込まれます。その対策として、近隣周辺の有料駐車場をお持ちの会社とお話をさせていただいており、やはり公園内の駐車場は43台ということで、非常に脆弱ですので、そういったところを活用しながら、渋滞のないように誘導していきたいと考えています。

開園後もそういった連携を保ちながら、誘導することによって、大宮通りの渋滞を回避していきたいと思っています。以上です。

○金剛まちづくり推進局長 ただいま志茂平城宮跡事業推進室長から3月24日の朱雀門ひろばのオープンのときの渋滞対策について説明をしました。

ご質問は、丸はついていませんけれども、平城宮跡周辺地域における街路渋滞対策検討事業についてのお尋ねだと考えていますが、きょうは担当者が出席していませんけれども、基本的には、近鉄大和西大寺駅周辺や、大宮通り周辺のまちづくりも含めた検討、調査ということです。

○中川委員 今、私も丸がついていないことに気づきました。観光振興対策特別委員会の所管と思っていたのですけれども、違ったということで、気づきました。

今後、平城宮跡もいろいろな団体もイベントなどでどんどん活用していくと考えていますので、そういった観点も質問の際に大切にしていきたいと私も考えています。以上です。

○今井委員 今、中川委員からも質問のありました寄附金の関係なのですけれども、この奈良公園観光地域活性化基金積立金と、その下の基金事業の関連なのですが、この寄附金の性格というのはどういうもので、どれぐらいの方が寄附をされたのかを教えてください。

○上平奈良公園室長 奈良公園観光地域活性化基金は、県内外の住民の方や事業者から寄附金を募り、それを財源として、奈良公園周辺で実施されている伝統事業、観光振興、歴史的建造物の再建など、奈良公園の観光資源としての価値を高める事業に充てています。

具体的にどういう事業かといいますと、しあわせ回廊なら瑠璃絵、なら燈花会、若草山

焼き行事、天然記念物「奈良のシカ」の保護育成、興福寺中金堂平成再建事業、特別天然記念物「春日山原始林」の保全再生の合計6つに対して基金を募集して交付しています。

今回の補正については、興福寺中金堂に対して12月からかなり大口の寄付が、結構な数が来まして、数としては、興福寺中金堂では、去年36件に対して79件で、全体では、6事業で、去年128件で、ことしは集計はまだなのですけれども、170件程度になると思っています。以上です。

○今井委員 結構です。

○亀田副委員長 その他ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、ほかになければ、これをもちまして質問を終わります。

これで本日の委員会を終わります。